

## プレスリリース

### 2020年度QCサークル石川馨賞奨励賞を受賞

#### 可燃ごみを削減し、古紙をリサイクル

佐久総合病院（本院：長野県佐久市臼田 197 番地、統括院長：渡辺 仁）は、「可燃ゴミ分別における古紙混入の削減」の取り組みが評価され、一般財団法人日本科学技術連盟主催の賞の中でも名誉ある「QCサークル石川馨賞奨励賞」を受賞しました。

#### 【受賞チーム概要】

サークル名：澁 RIVER（施設課）

活動内容：当院で出される可燃ごみのなかに古紙が大量に混入していることを受け、可燃ごみと古紙を分別する取り組みを院内に導入・推進を図りました。2017年9月からグループ内で可燃ごみとして廃棄されていた古紙を分別し、資源としてリサイクルするために、ごみ分別のマニュアル作成や各職場へラウンドを行い、2,000人余りの職員へ周知と定着を図りました。佐久総合病院（本院）において取り組み前には可燃ごみが月 8,500～9,000kg 出ていましたが、1月あたり約 2,000kg 減らすことができ、QCサークル活動終了後も対策を標準化し、3年を経過した現在も管理が維持されています。



また、年間処理委託費用は廃棄物の重量によって決まりますが、可燃ごみを減量したことで年間 180万円の費用削減することができました。

#### 【QCサークル石川馨賞奨励賞について】

一般財団法人日本科学技術連盟が、QCサークル活動の活性化と水準向上に寄与することを目的として、模範的な特色ある活動を行なっている活動を表彰する『QCサークル石川馨賞』を1965年に創設。佐久総合病院のサークルは、2007年度に受賞をしています。今回受賞した『QCサークル石川馨賞奨励賞』は、活動の普及・発展と活性化に貢献したサークルを表彰するため、2013年に新設されました。

当サークルは2017年度の院内QCサークル活動で初めて発表を行い、2019年9月に長野市で開催された第6154回小集団活動東北信発表大会において特色ある優れた活動事例として「体験事例優秀賞」を獲得し、(一財)日本科学技術連盟が発行する『QCサークル』誌2020年6月号に活動事例が掲載され、QCサークル大会で年間に発表された1,731サークルから厳しい審査を受けた、受賞36サークルの1サークルに選出されました。

時節柄ご多用のことと存じますが、取材のご検討をお願い申し上げます。

#### 【報道機関からの本件に関するお問い合わせ先】

佐久総合病院(本院) 秘書広報課

TEL 0267-82-3131(代表) FAX 0267-82-7533

#### 受付時間

月～金曜日(祝日を除く) 8時30分～17時00分